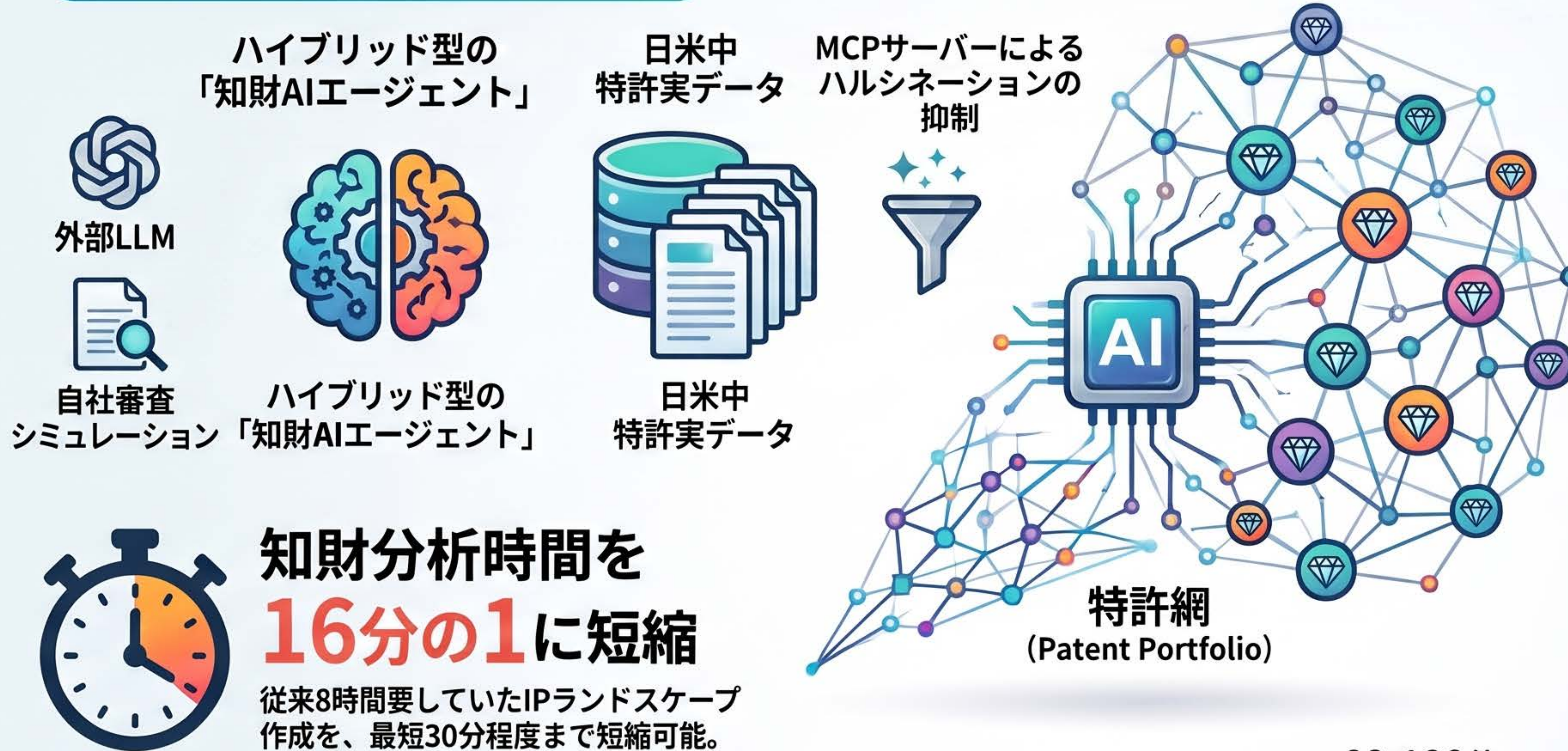


生成AIが変える特許戦略：AI Samuraiによる「特許網」自動生成の衝撃

技術の仕組みと圧倒的な効率化



2025年特許出願状況の急変



知財戦略へのパラダイムシフト



従来：「質」重視
今後：「量と質の両立」へ
起草コストの低下により、コア発明の周辺を網羅する戦略が現実的になる。



中小企業における技術保護の強化

低コストで周辺特許を確保でき、大企業の特許網に対抗する好機となる。



弁理士による最終レビューが必須

法的適格性の判断や品質管理には、依然として人間の専門家が関与する。